学校と家庭・地域とをつなぐコミュニティ・スクール通信

ねっとわーく押原
NETWORK OSHIHARA

昭和町立押原小学校
CS学校通信 NO.４
令和６年７月１８日
校長　　深澤 秀興

■　校長室の窓辺より　■

１学期終了

72日間（６年生は73日間）に渡る１学期が，７月22日の終業式をもって無事に終了します。大事なお子様方をお預かりする学校の責任者としましては，この間，子どもたちが事故や事件に巻き込まれることなく，楽しみにしている夏休みを迎えられることに安堵しています。まず第一に考えることは，この間，頑張って登校した子どもたちを讃えたいということです。月曜日，気の重い朝もあったことでしょう。月曜セットを抱え，難儀しながら登校した日もあったと思います。雨に打たれながらも，うっとうしい気候に汗を流しながらも，「へこたれず」に登校してきた子どもたちを，心から讃えたいと思います。第二は，本校の教育活動に御理解と御協力を頂いた保護者・地域の皆様方への感謝の気持ちです。「安全・安心」を学校経営の第１の目標にかかる本校において，登校時の旗振り，登下校の見守りはなくてはならないものであり，日々有難いことだと感じています。中でも，PTA活動として行っている旗振り当番については，相応の保護者様が，我が子が通らない場所で旗振りをしてくださっています。PTA活動の基本は「互助の精神」とは言え，深い御理解がなければ叶うことではありません。子どもの持ち物，学習の準備品一つをとってもそうです。私たちが学校で行う教育活動の背後には，多くの皆様方の支えがある。そのことを，深く心に刻んでいます。教育「活動」は，常に動き続けます。幼子を対象とした教育活動は，それこそ，保護者・地域の皆様方の深い御理解と御協力が不可欠です。是非今後とも，宜しくお願い致します。

さて，７月８日（月）と１２日（金）の２日に分け、押原地区４区の「地区懇談会」を開催させていただきました。仕事終わりのお疲れの中，夕飯時のお忙しい中，区長様をはじめ区の役員様，保護者の皆様方に多数お集まりを頂き有難うございました。その中で，今年度初の取り組みとなります，**「PTA早朝作業」**と**「CS『押原地区　小中合同引き渡し訓練』」**を中身とする**「押原小　CS-Day」（９月１日（日）午前開催）**の御説明をさせていただきました。『引き渡し訓練』を核としたこの「押原小　CS-Day」，詳細に付きましては別途お知らせ致しますが，御予定に入れておいていただけますよう，お願い致します。なお，紙漉阿原区の地区懇談会では，「通学路が地震等で通ることができない場合の迂回路が設定されているのか」という御質問を頂戴しました。今回，『引き渡し訓練』に伴う「親子集団下校」においては，今回新たに設定した「被災時用の安全道」を，親子で確認しながら試験的に通ることを予定しています。また，押越区の地区懇談会では，「通学路点検後に出された意見は，その後どのように扱われ，実現に結びつくのか」と言った御質問が出されました。関連して，７月 10 日付けで昭和町より「令和５年度児童通学路に関する要望書について」（回答）が寄せられました。３頁に掲載しましたので，御覧下さい。

〔昨年度の171体験教室の様子〕

子どもの「安全・安心」の確保に関わってもう１題。前号（CS学校通信No.3）の「組回覧版」で御案内もさせてもいただいたことですが，本校4年生は今年度も，7月20日・21日の両日に渡り，疑似避難所宿泊体験を含む，『防災教室』を実施します。同『教室』では，能登半島地震の被災地救援に出向いた昭和町役場職員様による被災地報告の他，NPOブレーメン様による「簡易トイレ」の作り方教室，更にNTT東日本様による「災害用伝言ダイヤル171」体験教室などを実施します。

こういった学習が，役に立つことがないように祈りつつ・・・。

【裏面も御覧ください】

令和６年度修学旅行

６年生は，７月３日～５日の３日間，修学旅行に出かけてきました。行程は，１日目は鎌倉を訪問し，途中，高徳院（鎌倉大仏）の参観を挟みつつ，前後は班別による鎌倉散策を楽しみました。夕食は，横浜・中華街で北京ダックを含む中華料理を堪能した後，横浜桜木町ワシントンホテルに宿泊しました。ここでの出来事です。２日目の朝，７時からの朝食に促すためとある男子の部屋を訪れたときのこと。男児２人が何かを一生懸命書いていました。不思議に思い「何を書いているの？」と問うたところ，「部屋の片付けも終わったので，お世話になったホテルの方に，お礼状を書いている」との事でした。十数度，修学旅行の引率を行っていますが，正直このような場面に出くわしたのは初めてでした。名取鈴太郎さん，赤池紘斗さん。誠に立派でした。

２日目は，豪華なビュッフェスタイルの朝食を堪能した後，上野・国立科学博物館を見学しました。ここでも班別に，広い館内を見学しました。国立の科学博物館故に，多くの学校が参観に訪れていました。そんな中，決してひいき目では無く，本校６年生が１番マナーを守り，礼儀正しく，一生懸命学習をしていました。その姿を，私は校長としてとても誇らしく思うと共に，大変愛おしく思いました。保護者の皆様方が，もしその場にいらしたら，「こんなに一生懸命学習してくれるなら，もう一回，修学旅行に行かせてあげてもイイかも」とお考えになるかもしれないなと，私にイメージさせるほど素晴らしい態度でした。オープンキッチンのある結婚式場で，カツカレーを食した後，午後は国会議事堂→東京タワーを訪れました。その日は，千葉県浦安市にある，オリエンタルホテル東京ベイに宿を求めました。そこでの夕食は，「牛肉の赤ワイン煮　ポテトグラタンとマッシュルームのボルドーレーズ」をメインにしたコース料理を用いて，Hotelの方を講師にテーブルマナーを体験しました。講師の方が最後に子どもたちに語ってくださった「テーブルマナーとは，思いやり。相手の立場になって行動すること」教えが，心には日来ました。３日目は子どもたちが心待ちにしていたTOKYO Disneylandを訪れました。ここでの出来事を紹介します。実は私は，今回の修学旅行に先立つ，旅行団の結団式の場で，「修学旅行の『修学』とは，学んだことを自分の物にすることです」という話をさせていただいていました。入学以来，教科書を使って学んだことはもとより，日々の生活の中で学んだ諸々のこと。それらを，実社会の中で試して欲しいと期待したのでした。果たせるかな，事実，こんなことが起こりました。ある男児が，記録写真用に持ち歩いていた学校のカメラを，乗り物の足元に置いてきてしまったのだそうです。気付いた時の男児の動揺は，察して剰りあるモノがあります。ところが，ここで本領発揮。修学旅行最大の学習場面を迎えます。男児は，「困ったときにはとにかく，キャスト（ディズニーの係員）に相談しなさい」という先生の教えを思い出し，勇気を出して相談したのだそうです。気付いたのが早かったため，程なく置き忘れたカメラが，男児の手元に戻ってきました。私はこの報告を担任の先生から受け，とても感激しました。この男児にとっては，ドキドキする場面に立たされたけれども，この旅行が真の修学旅行になったのだと確信できたからでした。そして，今，教育界に求められている「生きる力」が，この男児の中に確実に育まれていることを確認できたからです。男児の名誉もあるので，あえて名前は公表しませんが，誠に立派だったと思います。

【８月】の主な予定

７月２３日（火）～８月２８日（水）　夏季休業日

８月２９日（木）　始業式　給食なし
　　３０日（金）　発育測定１・２年　給食なし

９月　１日（日）　押原小　CS-Day　←　登校日（半日）

＊詳細は学年だより等で，御確認ください。

【本校ホームページ内で，日々blog更新中】